



本部高校3年2組

卒業式

3月に各学校で卒業式が行われ、それぞれの夢に向かって旅立ちました。



本部高校3年1組

- 令和5年度施政方針 2~8
- 八重岳の桜へお礼肥入れ ほか 9
- 実践的な英語学習 ほか 10
- 本部高校だより 11
- 情報ひろば 12~15
- ホエールウォッチング ほか 16

町道の
山里屋比久線が開通
しました！（闘牛場駐車場隣の道）

詳しくは
\\ 13ページをご覧ください。 /



本部町キャラクター ぶとモー

私たちの町
令和5年2月28日現在

世帯数：6,533世帯(+27) 人口：13,017人(+25) 男性：6,636人(+12) 女性：6,381人(+13) () 前月比



ふるさとの美しい自然を愛しみどりの町をつくります(本部町民憲章より)

令和5年度 施政方針

はじめに



令和5年第1回本部町議会定例会の開会にあたり、令和5年度予算案をはじめとする諸議案の説明に先立ち、町政運営の基本的な考え方について申し上げます。また、主要施策の概要を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症が、感染症法で位置づけられている2類感染症から5類感染症に変更される方針が打ち出され、我々を取り巻く日常生活がwithコロナ時代からアフターコロナ時代へと転換していく情勢となっております。本町においても、

これまでコロナ禍において、制限された活動が緩和され、社会経済活動が活発化しているところであります。

さて、令和5年度予算編成におきましては、限られた財源の中で、私の目指す「日本一心豊かなまちづくり」を実現するため、積極的かつ着実な予算編成を行ったところであります。

令和5年度の一般会計予算は、総額99億7千3百万円となっております。前年度当初予算から約19億9千百万円の増となっており、北部振興事業や一括交付金など各種国庫補助金等を積極的に活用し、新規事業及び継続事業の拡充などを提案しております。

令和5年度 重点施策の概要

次に令和5年度における重点施策の概要について申し

上げます。

第1に、「まちづくり」の重点事業の実施について申し上げます。



私は、町政運営の基本姿勢として、町民の生活を第一に据え、全ての町民の『融和』『協調』『個性』を大事に、『日本一心豊かなまちづくり』を目指してまいりました。令和5年度も引き続き、『心の豊かさ』を大切にまちづくりの基本理念といたします。

まちづくりにあたっては、ハード事業とソフト事業とのバランスを図りながら、持続

可能なまちづくりを推進することが基本的な考えであります。

令和5年度の主なハード事業には、給食センター改築事業、瀬底団地新築事業、本部港渡久地区水産整備事業、満名本線整備事業、上本部学園線整備事業、田空ハーソー公園機能強化事業など数多くの事業を実施いたします。

ソフト事業関連につきましては、一括交付金を活用した本部町観光誘客周遊バス実証事業、テレワーカー人材育成事業、低炭素なまちづくり推進事業、もとぶブランド牛改良促進事業など多くを実施することしております。

アフターコロナを見据え、ありのままの自然、ありのままの日常に磨きをかけ、観光客を呼び戻したいと考えております。令和5年度につきましては、新たに『町まるごとテーマパーク強化事業』を立ち上げ、民間が持つ観光コンテナツを積極的に後押ししていきたいと考えております。

更に町まるごとテーマパーク化を推進するため、本部町観光誘客周遊バス実証事

業、もとぶマイクロツーリズム推進事業、田空ハーソー公園機能強化事業、本部港渡久地区水産整備事業などの一層の拡充を図ってまいります。



ICTを活用した行政のDX及び地域のDX推進は、アフターコロナ時代のまちづくりにおいて、その取り組みを着実に強化しなければならないと考えております。

令和4年度に着手し、令和5年2月から稼働している「引越ワンストップサービス」や令和5年4月から一部行政手続きがインターネット



を通して可能となる「オンライン申請サービス」も稼働予定であります。

令和5年度は、現在策定中の「本部町DX推進計画」を実施の段階に移行し、本町のDXの推進を加速してまいります。

その一つとして住民情報を取り扱う、基幹系システムのパバメントクラウドへの移行に向けた「行政システム標準化計画」を策定し、作業を進めてまいります。

情報発信の強化は、これらのまちづくりを行うにあたって、極めて重要だと考えております。

これまで、報道各社やFMもとぶ向けの定例記者会見や本町ホームページの機能拡張などを実施しております。令和5年度は、LINEの機能拡張や様々なイベント情報の発信などをより一層、強化してまいります。

第2に、「地域産業の振興について」申し上げます。

1点目に、「観光の振興」について、申し上げます。



令和4年の沖縄県観光入域者数は570万人となり、令和元年以来、3年ぶりに対前年比で増加傾向となつております。本町の観光入域者数においても223万人となり、前年よりは増加傾向になつております。しかし、コロナ禍前の約45%の観光入域者数にとどまつており、今後は特にインバウンド関係の増加が期待されているところであります。

本町の観光振興につきましても、地域住民や団体が主体的に開催する観光客誘客のためのイベント等の支援を積極的に促進してまい

ります。

また、周年を通して観光客の移動手段を確保し、本町への誘客及び町中周遊を促進するため、「観光誘客周遊バス実証事業」を拡充・推進してまいります。

観光地としての魅力を高めるため、国営沖縄記念公園事務所及び沖縄美ら島財団との連携を更に強化し、多種多様な観光客誘客活動などを引き続き展開してまいります。

また、「もとぶマイクロツーリズム推進事業」においては、モニターツアーを実施するなど実践に向けた取り組みを強化してまいります。更にツアーガイドの育成により、質の高い受け入れ態勢を構築してまいります。

令和5年度においても、観光協会を中心に商工会や飲食業界など、各種団体と引き続き連携を図り、観光振興に努めてまいります。

2点目に、「商工業の振興」について、申し上げます。

商工業の振興につきましては、これまで本部町商工会と連携し、コロナ禍による各種支援策等の申請支援及び経営支援を実施してまいりました。また、新たな販路開拓による売上確保の取り組みなど各種事業者と連携してまいりました。

コロナ禍による行動制限や物価高騰などによる町民生活及び町内事業者の経済的影響の緩和を図るため、令和2年度から令和4年度までの間、「もとぶコロナシヨック生活支援及び経済活性化事業」等を実施してきました。

引き続き、物価高騰などによる町民生活の影響を緩和するための支援を実施してまいります。

商工業振興における販促活動は極めて、重要であることから「メイドインもとぶ産品成長化推進事業」を引き続き実施いたします。県内では沖縄の産業まつりや桜まつり、海洋博公園内での販促活動を引き続き支援してまいります。

また、県外においても青森県での「全国地場産フェ

ア」や東京都で開催される「ニッポン全国物産展」への出展や事業者支援などを積極的に展開してまいります。

3点目に、「農林水産業の振興」について、申し上げます。



まず、農水産物などの販売力の強化を図るため、もとぶかりゆし市場を中心に関係機関と一体となったセールスプロモーションの展開を強化いたします。更にマスメディアを活用した効果的な情報発信に取り組み、町産農水産物の販売促進につなげてまいります。

農産物の生産力強化につ



きまわりを守り互いに力を合わせて明るい町をつくります(本部町民憲章より)

いては、JA本部支店及び花卉農協など生産団体と連携し、生産性の向上に努めてまいります。特に「シークワサー関連商品」、「もとぶかりゆしゴールド」及び「アセローラ」など本町が誇るブランド商品の更なる品質向上及び商品開発に取り組み、生産拡大につなげてまいります。

養豚については、生産者と連携し、「本部町産あぐ〜」の認知度向上及びふるさと納税の返礼品に活用するなどPRに努めてまいります。また、豚舎から排出される有機物が円滑に地域循環できるように取り組んでまいります。

肉用牛については、令和4年度に導入した全国でもトップクラスの優良雌牛を活用し、最高級の子牛の生産改良に取り組み、新たな「もとぶブランド牛」の改良促進を実施してまいります。

農業団体の育成については、引き続き、「本部町の農業を元気にするネットワーク

クの会」及び「本部町青年農業者の会」を積極的に支援してまいります。

基盤整備については、「具志堅地区かんがい配水施設の整備事業」を令和7年度の完成に向け事業を実施してまいります。

また、ハーツー公園の機能強化策として、観光機能と地産地消を目指した地域振興施設として位置づけ、自然学習を体験できる交流拠点に向けた整備を実施してまいります。

水産業の振興については、本部港渡久地地区に新たな施設整備を行ってまいります。

その内容としましては、漁船の係留施設を整備することで、港内用地及び水域の効率的な活用につなげてまいります。

森林保全については、保全と活用のバランスを図るよう検討してまいります。特に八重岳エリアについては、史跡名勝天然記念物の指定を受けるなど重要な森林地域を形成しております。本

町への観光誘客促進を図るための貴重な観光資源でもあります。桜への施肥作業や草管理等を行い、今後とも積極的に保全し、観光資源としての活用も推進してまいります。

第3に、「住民生活の環境整備について」申し上げます。

1点目に、「生活道路の整備」について、申し上げます。



道路整備は、本町で生活する、すべての人に恩恵をもたらすことができる重要な施策であります。

北部振興事業を活用

して整備を進めてきた、瀬底島一周線、石川謝花線、嘉津宇具志堅線及び満名川線については、令和4年度に全線の供用を開始いたしました。令和4年度からは町道上本部学園線及び町道満名本線の整備が始まっており、いずれも実施設計が完了したことから令和5年度より用地買収に着手いたします。

本町の一層の定住促進と産業振興を図るため、引き続き強力に推進してまいります。

健康石嘉波線については、国庫補助事業予算である沖縄振興公共投資交付金を活用して整備を進めることにしております。令和5年度から用地買収に着手し、早期の着工を目指してまいります。

また、満名川周辺の生活道路においては、大潮や大雨時に冠水する区間について対策工事を進めてまいります。

東浜川線の嵩上げ工事については、国庫補助事業予算である社会資本整備総

合交付金が満額配分されたことにより、現在、工事の準備を進めているところであります。

更に町単独予算による東地区内の嵩上げ工事も行い、安心・安全な生活環境をつくりあげてまいります。

一方、第一渡久地橋については、先月、橋桁の沈下が見られるなど危険な状態となつていたため、全面通行止めといたしました。町民生活への影響を最小限にするため、早急に調査・設計費用を予算計上したところであります。あわせて、国土交通省の「道路メンテナンス事業」を活用し、一刻も早い架け替えに取り組めないかを沖縄県と調整しているところであります。

2点目に、「町営住宅の整備」について、申し上げます。





定住人口の確保のために、町営住宅の整備が喫緊の課題であります。令和4年度は、具志堅団地の整備が完了いたしました。子育て世帯が入居し、地域のさらなる活性化が図られているところであります。

また、北部振興事業を活用し、瀬底団地の設計に着手しており、令和5年度の完成に向けて取り組んでまいります。

今後とも順次、子育て支援住宅を整備し、定住人口の確保に努めてまいります。

3点目に、「港湾整備」について、申し上げます。

本部港は、本町のみならず北部地域の物流拠点として重要な港湾となっております。

鹿児島、東京・大阪の定期航路により、現在では北部地域を中心に沖縄県全域の物流を扱っております。今後とも本部港が担う役割が大きくなっていくものと期待しております。

また、大型クルーズ船を受け入れるための岸壁工事を

令和4年11月に完成しており、大型クルーズ船の受け入れが可能となっております。引き続き、沖縄県と連携し、港湾管理の強化を含めた港湾整備に努めてまいります。

4点目に、「町道など生活道路の補修等」について、申し上げます。

現在、町単独事業として、「もとぶ環境美化事業」を実施し、各行政区による公共の場の環境美化、安心安全な地域づくりの取り組みを支援しています。これにより、地域住民が道路の維持管理に参画する仕組みを作りあげてまいりました。

また、一括交付金を活用した、「もとぶ観光地クリーンアップ事業」により、令和4年度は、町道及び農道18路線の美化作業を実施してまいりました。引き続き、道路の維持管理・美化に努めてまいります。

第4に、「町民の福祉・保健・衛生について」申し上げます。

1点目に、「福祉の充実」について、申し上げます。



これまで、新型コロナウイルスの影響で地域活動の中止など、地域住民のつながりが薄れてしまう状況にありました。こうした中、子育て世代や老人及び障がい者を含めた地域共生社会の体制づくりが重要となっております。

このようなことから、民生委員・児童委員及び社会福祉協議会など関係者との連携を一層強化してまいります。

児童福祉につきましては、「社会全体で次代を担う子ども達を育てる」という

機運を高めていきたいと考えております。令和5年度から国においては「こども家庭庁」を新たに設置し、様々な子育て支援策についての体制整備が行われていきます。本町は2年前にいち早く子育て支援課を配置し、子育てへのサポートを強力に展開してまいりました。

その象徴が「本部町子ども・子育てゆいまーる基金」であり現在、町内外から多くの個人・企業などから賛同を頂いているところでございます。

本基金を活用し、令和5年度も引き続き、①幼稚園児への絵本の提供によるふれあい学習支援、②双子等出産時における支援、③子どもの居場所づくりへの支援、④保育園児への食費支援、⑤町立学校へのデジタル教科書支援、⑥県外等への派遣費支援、⑦ブックスタート事業支援、⑧南富良野体験交流事業支援、⑨中学校進学支援、⑩子育て世代育児用品支援、⑪妊産婦子育て世代移動支援等、多様な支援を行ってまいります。

令和5年度は新たな事業として「出産・子育て応援交付金事業」を実施し、妊婦世帯の経済的不安解消支援などを実施してまいります。

令和5年度も引き続き、保護者が安心して子育て及び就労ができるよう「ひとり親家庭等の放課後児童クラブ利用料半額補助」及び「医療的ケア児の受け入れ」、「病児対応保育」を実施してまいります。

子どもの貧困対策及び児童虐待対策につきましては、支援員を増員配置するなど、きめ細やかな支援体制を構築してまいります。

老人福祉については、高齢化がなお一層加速する中、介護保険サービス及び認知症の相談件数等が増加しております。このことから、本人及び家族の相談にも適切な支援対応が出来るよう取り組んでまいります。

また、地域における通いの場は、住民同士のつながり及び介護予防に重要な役割を果たしております。今後



も各地域での住民主体の取り組みについて支援を強化してまいります。

運動教室等介護予防事業については、要支援状態からの自立を目指す自立支援を推進してまいります。

要介護状態になっても、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供できるように、「地域包括ケアシステム」の構築を引き続き推進してまいります。

障がい福祉につきましても、障がいのある方や家族の実情に応じた相談支援など、緊急時の受け入れ体制を備えた「地域生活支援拠点等」の機能充実を図ります。

また、障がい児・障がい者の生活支援については、沖縄県障害者自立支援協議会等と連携して、支援体制の整備に取り組んでまいります。

生活困窮者への支援としては、生活全般の困りごと等に対して、地域や社会福祉協議会等関係機関と連携しながら支援してまい

ります。

2点目に、「保健・衛生」について、申し上げます。



新型コロナウイルス接種について、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更になりますが、関係機関とも連携し、引き続きワクチン接種が継続して実施できるよう努めてまいります。

住民健診につきましても、特に40歳以上が受診する特定健診の受診率向上のため、平日に受診できる個別健診及び週末に受診

できる集団健診を実施いたします。

また、住民健診受診者が町内事業所で利用できる「健康特典チケット」も引き続き配布してまいります。

健診後の保健指導においては、保健師や看護師等による訪問指導や電話相談を実施し、糖尿病など、生活習慣病の重症化予防に努めてまいります。

75歳以上が加入する後期高齢者医療制度につきましては、令和4年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が始まっております。介護予防事業とも連携しながら、後期高齢者になっても切れ目のない保健指導を行ってまいります。

国民健康保険事業につきましては、被保険者の高齢化による医療費の増加等により、財政運営は依然として厳しい状況にあります。引き続き財政の運営主体である沖縄県とも連携し、適切な財政運営に努めてま

います。

また、主要な財源となります国民健康保険税につきましても、引き続き夜間相談をはじめとする納税相談等を積極的に行ってまいります。

環境衛生につきましても、引き続きごみの資源分別の意識を高め、減量化と資源化を推進してまいります。

また、行政区やボランティア団体とも連携し、町内の美化活動等も積極的に支援してまいります。

タイワンハブ対策につきましても、引き続き捕獲器を増設し、個体数を減少させる取り組みを強化してまいります。

第5に、「上下水道事業について申し上げます。

水道事業につきましても、令和5年度も施設の維持管理及び水質管理を重点におき、町民への水の安定供給に努めてまいります。また、令和4年度に続

き「並里浄水場」と「笹川浄水場」の機能を統合した「新浄水場」の整備を推進してまいります。令和5年度においては、ポンプ棟建築工事、造成工事等を施工してまいります。

また、安定した水の供給体制及び経営安定を図るため、新たに、水道事業基本計画の見直しに着手いたします。

公共下水道事業につきましては、各所で老朽化が著しく進んでいることから、全面改修が必要な状況であります。

令和5年度は、施設の修繕整備に加え、全面改修に向けた基本設計業務の完了を目指します。完了後は、日本下水道事業団と協定を締結し、実施設計業務に着手してまいります。

また、令和6年度から地方公営企業法を適用するために移行業務を進めてまいります。

令和5年度は全国的な電気料金等の高騰により水道事業、公共下水道事業共に厳しい経営になることと



「武本部」とは、進取の気性に富み、質実剛健で文武両道の町民のことだよ

予想されますが、より効率的で安定した経営を目指してまいります。

第6に、「幼稚園教育・学校教育・社会教育について」申し上げます。



地域社会全体で、心豊かたく、まじしい本部つ子を育成することは、教育行政の基本姿勢として、極めて重要な課題であります。そのため、「豊かな人間性」、「学力の向上」、「自立心の向上」を本部町フロンティ

アビジョンの中核に据えて、その支援に取り組んでまいります。

1点目に、「幼稚園教育」について、申し上げます。

幼稚園教育につきまして、幼稚園と小学校の合同研修会等を通して連携強化を図り、教育体制の構築に取り組んでまいります。令和5年度においても、本部幼稚園の専任園長を中心に、全幼稚園の体制強化を引き続き図ってまいります。

2点目に、「学校教育」について、申し上げます。

各学校における校内研修などを充実させ、すべての教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ってまいります。

令和5年度においても、本部小学校を研究指定校として、ICT教育の推進を図ってまいります。引き続き、プログラミングコンテンツやタイピングコンテンツなどを実施いたします。また、小中一貫したキャリア

教育の充実を図るため、キャリアパスポートの活用や異学年交流を行うなど、自立心の向上を推進してまいります。

これまで懸案事項にありました、瀬底小学校屋内運動場の雨漏りにつきましては、令和5年度において早期に調査設計を実施し、屋根全面改修工事に取り組んでまいります。

学校給食においては、地域食材を活用し、食を通して食べ物に関する知識や生活習慣、健康な体づくりなどの食育の推進を図ってまいります。

令和4年度から取り組んでおります、学校給食費無償化については、子育て世代の経済的な負担を軽減するため、令和5年度も引き続き取り組んでまいります。

本部高校につきましては、新たに高校魅力化コーディネーターを配置し、高校と地域をつなぐサポートなどの支援をしてまいります。また、後援会への支援、

大学及び専門学校等への進学支援も引き続き図ってまいります。

3点目に、「社会教育」について、申し上げます。



社会教育の振興につきましては、八重岳エリアや本部カルスト地域等を活用し、自然観察教育等を継続的に実施してまいります。また、各字公民館と連携し、夏休みを利用した地域学習教室、子ども会活動等にも引き続き取り組んでまいります。

更にもとぶ文化交流センター及び町立博物館を活用

し、自然・歴史・文化などの魅力の情報発信、体験・交流及び各種研修など、より一層推進してまいります。文化活動については、本部町文化協会と連携し、もとぶ展や本部町文化祭の開催などに取り組んでまいります。

スポーツ振興につきましては、スポーツを通して町民の体力向上等を図るため、運動公園や町民体育館、各学校の体育施設などの活用を推進してまいります。

第7に、「行政組織体制の強化と財源の確保について」申し上げます。

社会経済状況が大きく変化する中、職員一人ひとりが多くの課題に、的確に能力を発揮することが求められます。そうした職員の能力を「組織力」として集結し、課題解決に向け取り組んでまいります。

その組織力の強化を一層図るため、統括監の職を新たに設置します。多様化・複雑化する行政需要に対し、



ペゴニアが鮮やかに咲き誇ってるよ!



課の横断的な取り組みにより、迅速かつ的確に『変化する新たな時代に対応』してまいります。

また、職員個々の能力を伸ばすため、職員研修の強化に取り組みます。

財源の確保につきましては、新税は、町税をはじめとする自主財源の確保・拡充に取り組みまいります。

税金につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が予測しづらい状況ではありますが、町税への影響については引き続き注視してまいります。

町税収納では、納税相談員によるきめ細やかな相談及び法に基づく適正な滞納処分等により収納率の維持・向上に努めてまいります。

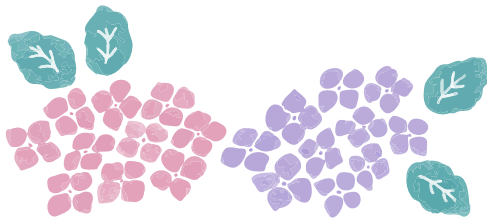
また、キャッシュレス決済や口座振替などの収納を推進するなど、納税環境における利便性の向上に努めてまいります。

個人版ふるさと納税、企業版ふるさと納税の応援寄附につきましては、令和5年度におきましても、多方面に応援寄附の協力をはたらきかけ、魅力ある町づくりに有効活用を図ってまいります。

おわりに

以上、令和5年度の町政運営にあたり、主要施策の概要につきまして、重点事業と新規事業を中心に、その一端を申し述べました。

施策の推進にあたりましては、全職員連携のもと、総力を上げて施策を遂行してまいります。



最後に、令和5年度においても、町民本位の行政運営を基本とし、常に親切丁寧な対応に徹し、質の高い行政サービスの提供に努めてまいります。私の目指す「日本一心豊かな町づくり」を実現すべく、全力で取り組み、まいりますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和5年3月9日

本部町長平良 武康

多数のご寄附ありがとうございます 子ども・子育てゆいまーる基金

子ども・子育てゆいまーる基金に1年通じ多数のご寄附をいただきました。寄附者と寄附金額は次のとおりです。

(令和4年2月1日～令和5年1月31日 受付分)

コカ・コーラ様(1円運動)	80,691円	柴田 恵子様	116,114円	柴田 恵子様	90,203円
サンポッカ様(1円運動)	54,986円	具志堅 透様	(故 具志堅用薫氏)の香典返しとして150,000円	渡口 彦信様	500,000円
かりゆし市場・生産者の会様(1円運動)	89,539円	名渡山 兼文様	50,000円	Hilton Grand Vacations Japan 合同会社様	500,000円
本部町商会様	23,927円	株式会社 島ピアノセンター様	15,000円	沖縄県農業協同組合 本部支店様	50,000円
琉球セメント 協力会様	200,000円	謝花 良平様	(故 謝花千恵子氏)の香典返しとして200,000円	本部元気まつり実行委員会様	100,000円
具志 守様	50,000円	株式会社 沖縄美ら島フードサービス様(1円運動)	160,010円	阿波根 昌興様	100,000円
MT & ヒルトンホテル(株)ヒルトン沖縄瀬底リゾート様	50,000円			一般社団法人 創作芸団レキオス様	70,000円
(株)沖縄県食肉センター様(1円運動)	33,278円			匿名様(2名)	33,200円

令和5年度 子ども・子育てゆいまーる基金活用事業一覧

令和5年度は本基金を活用し、下記事業を実施していきます。

絵本ふれあい学習支援事業	子どものデジタル教科書導入事業	中学校進学支援事業
双子等出産子育て支援事業	子ども県外・県内離島派遣費補助事業	本部町子育て世代育児用品支援事業
子どもの居場所づくり特別支援事業	ブックスタート事業	本部町妊産婦子育て世代移動支援事業
保育園児主食費支援事業	南富良野町体験交流事業	



毎月最終日曜日は、日曜朝市が開催されてるよ。

来年の開花を願い 八重岳桜にお礼肥入れ



今年の桜まつり期

間中、満開の桜をさ
かせてくれた八重岳
の桜に感謝を込めて
2月24日、八重岳桜
の森公園内でお礼肥
入れを行いました。

本部町の農業を元氣
にするネットワーク
の会と本部小学校男
女ミニバスケットボー
ルクラブが参加し、桜
への感謝とまた来年
も咲いてほしいと願
いを込めて桜の木に
堆肥を入れました。

参加した本部小
学校6年生の具志堅
春人^{はると}さんは、「堆肥
を入れる作業は大変
だったけど、桜が綺麗
に咲いてくれるよう
頑張った。来年も綺
麗に咲いてほしい」と話しました。また、同校6

年生の知念舞^{まい}さんは「今年桜まつりに行った際に
とても綺麗に咲いていたので、その感謝を込めて
作業をした。また来年もみんなで満開の桜を見に
来たい」と思いを語りました。



肥料をまく児童ら



お礼肥入れの参加者

本部町商工会50周年



昭和47年12月に本部町
商工会が設立してから令
和4年で50周年を迎え、2
月8日、もとぶ文化交流セ
ンターにおいて記念式典が
行われました。同会は、海
洋まつりや桜まつりの立ち
上げや、事業者の経営改善
地域商工業振興など地域
発展のために様々な活動を
行っています。

式典で松田泰昭会長は
「様々な影響により各事
業者がひっ迫している状況
であるが、今こそ経済団体
として力を発揮するとき
である。本部町をはじめ、
沖縄県を牽引していけるよ
うみんなで一丸となって頑
張っていきましょう」と力強
く意気込みを述べました。

特別功労者賞を受賞した山川宗克^{むねかつ}さんは「青
年部に所属し、まつりの運営等を先輩後輩たち
と協力しながら行ってきた。そこでいろんな事
を学びたくさんの思い出ができて、多くの人に支え
てもらって理事を過ごすことが出来ました。こ
れからも商工会の益々のご発展を願っています
」とあいさつしました。



幕開けのかぎやで風



表彰を受けた皆さん

サイエンステックキャラバン inもとぶ



将来の沖縄県の科学技術及び
産業の振興を担う人材の育成に
繋げていくことを目的に2月19
日、サイエンステックキャラバ
ン(主催:沖縄県がもとぶ文化
交流センター)で行われました。
子どもたちに科学技術の楽しみ
や探求心を持ってもらうため、
県内大学や研究機関、企業等と
連携して様々な体験型講座が実
施されました。

深海で発泡スチロールの形が
どう変化するかの実験では、発
泡スチロールに水圧をどんどん
かけていくことで発泡スチロー
ルが元の大きさの半分以下に圧
縮され、参加した方々からは
驚きの声や何故そうなったのか
と疑問の声が多く聞こえ、興味
津々の様子でした。この実験に
参加した小学4年の崎山悠斗^{はると}さ
んは「深海では、ボールの形や発泡スチロールの形が変
化するのびっくりした。水の力でものに変化が加わる
ことがわかって良かった」と話しました。

また、液体窒素^{ふたば}でマイナス196度の世界を体験した
小学2年の花原双葉^{ふたば}さんは「炭酸に手を入れていた
いにシユワシユワした。理科に興味を持つことができ
たので、また参加してみたい」と笑顔で話しました。



深海での実験の様子



マイナス196度の世界を体験している様子



4月の第3日曜日は「もすくの日」だよ。

町内中学生が 外国人へインタビュー

町教育委員会では、名桜大学リベラルアーツ機構英語教育と連携し、小中学生が基礎的な英会話や英語表現ができるように、実践的な英語学習に取り組んでいます。その取り組みの一環として、3月3日、本部中学1年3組の生徒30名が海洋博公園で外国人観光客に英語でインタビューを行いました。様々な国から訪れた観光客に英語で出身地や趣味、好きな食べ物や質問しました。外国人観光客からは、「ゴーヤーチャンプルーが大好き」や「寿司のイクラが好き」などの英語での回答に名桜大学生にサポートされながら、生徒たちは耳を傾け、聞き取っていました。

同校の川田莉愛さんは「出身地などを聞いてどうにか聞き取ることができた。野球が好きなので、英語を喋れるようになってメジャーリーグを見に行きたい」と目標を語りました。また、同校の仲宗根颯音さんと國吉姫加さんは「3組の方にインタビューをして上手く伝えることが出来てよかった。もっと勉強して今度は会話を繋げられるようにしたい」と話しました。

名桜大学の玉城本生助教は「日頃学んでいる英語が実際の社会ではどんな風に使われているのか知ってほしかった。この学習をきっかけに英語に興味を持ち、今後に活かしてほしい」と思いを語りました。

町内各中学校の1年生も同様な取り組みを行い、英語への関心を深めました。



台湾からの観光客と記念撮影



外国人へのインタビューの様子



防災意識の 普及啓発の一環 災害用備蓄食糧の配布

防災意識の普及啓発の一環として、町内各小中学校、幼稚園、保育園の児童生徒及び町内の高齢者、障がい者福祉施設へ、町の災害用備蓄食糧を配布しました。これは、防災教育教材として災害用備蓄食糧を配布し、学校並びに家庭において防災について考える機会につなげていくように実施しました。2月28日には、瀬底小学校において災害用備蓄食糧の贈呈を行った他、備蓄倉庫の見学も行いました。

瀬底小学校3年生の仲田潤ノ介さんは「学校に備蓄倉庫があるのは知っていたが見るのは初めてだった。家に帰って家族にも災害の話をして、非常用バックの準備をしたい」と話し、同校5年生の崎濱秀正さんは「備蓄食糧をもらうことで災害について考えるいい機会になった。ハザードマップなどを見て、どこが避難場所などの道が安全なのかを確かめたい」と話しました。



災害用備蓄食糧の配布を受けた
瀬底小学校の児童ら



備蓄倉庫を見学する児童ら



こころの 健康講演会

1月13日、上本部学園においてこの健康講演会が行われ、同学園中学3年生31名が参加しました。自分自身の健康について考える機会をもつことを目的に行われ、講師からストレスや何らかの問題に直面した時の対処法について学びました。また、講師を務めた地域生活支援ウエーブの新垣優一郎さんは「課題ばかりに目を向けず出来ているところを探したり、悩んでいる人の助け上手になると自分も周りも心が元気になる」と話しました。

講演会を聞いた同学園3年の宮坂良寛さんは「実際の精神療養者による体験談を聞いて、一つ一つの出会いが大切だと感じた」と話しました。



講演会を聞く生徒たち





もすぐには、肌の保湿力を高める働きがある他、コレステロール値を下げる効果があるよ。

本部高校だより

本部高校第54回卒業式

令和5年3月1日に第54回本部高校卒業式が挙行され、53名の生徒が羽ばたいていきました。

新型コロナウイルスの影響で、多くの制限がある中、メイン行事であるスポレクDAYや本高祭を始め、さまざまな学校行事や日々の学校生活を通して、仲間との友情を育み、輝かしい青春の1ページを刻んだのではないでしょう。

本部高校体験ツアー

本部高校と本部町内の中学校とは「連係型中高一貫教育」を実施しております。本事業は平成13年度から始まり、各中学校への乗り入れ授業や連携入試などを行っています。

2月14日に本事業の一環として、本部町内の中学生対象に「本高体験ツアー2023」が開催されました。実際に本部高校の雰囲気や自身の肌で感じてもらい、高校への進路決定の一助としてもらうものです。コロナ禍の影響



在校生の成果発表を見学する生徒



体験する生徒たち

もあり、本ツアーが開催されるのは3年ぶりのことです。当日は、町内の中学2年生約140名が参加しました。参加した生徒たちは、はじめに本部高校の説明を受けた後、6グループに分かれ各教科30分の模擬授業を2コース分体験しました。



校外学習の様子



本部町の豊かな自然を知った野外学習

県内外へ、様々な進路を取る卒業生たちですが、本部高校で得られた学びを深め、大きく成長し、世界に、日本に、沖縄に、本部町に貢献できるような人物になってもらえればうれしい限りです。

「日本情報処理検定」成績優秀者

情報処理の知識や技能を測る検定「日本情報処理検定」で、見事な成績をおさめた本部高校3年生の佐々木愛斗さんが「会長特別賞」、仲村久斗さん・仲村まひろさん・兼次千友里さん・小濱梨里さんが「検定委員長賞」を受賞しました。

人おり、そのうちの一人、3年生の佐々木愛斗さんは、およそ1年間の自主学習と情報教諭のフォローもあり、見事昨夏に受賞しました。小さな頃からパソコンに興味を持っていた佐々木さんは「今回の受賞を励みに、今後も大学に進んで、更なる情報処理能力向上に努める」と力強く豊富を語っていました。

日本情報処理検定は、エクセルを使った表計算、ホームページ作成など8種目の分野で、与えられた課題を時間内に正確に達成する力が試されるものです。今年度、全8種目で1級以上の合格となる「会長特別賞」を受賞したのは全国で20



受賞した生徒たち

寄贈を行った 保育福祉コースの3年生

1月27日、保育福祉コースの3年生が、手作りのおもちゃを、こすもキッズ小規模保育園に贈りました。家庭科の授業の一環でSDGsを意識して材料集めから工夫し、ペットボトルや紙箱など再利用できる物を使い、心を込めて作りました。園児たちからは「おもちゃをもらえて嬉しい。たくさん遊びたい」といった声が聞こえ、園児たちはおもちゃに夢中でした。



おもちゃの寄贈を行った高校生ら



空気が乾燥しやすい季節だね。火災が発生しやすいため、火の元には注意しよう!

消防だより



新規採用職員情報!!



令和5年4月1日付で、新たに2人の職員が採用されました。
新規採用職員は、4月10日より中城村にある沖縄県消防学校に約半年間入校いたします。消防学校では、消防吏員としての体力と気力の錬成や知識・技術の習得を目指し、現場に配属されてからも本部町、今帰仁村の住民の生命、身体、財産を守るために1日でも早く1人前の消防士になれるよう日々研鑽し、精進してまいります。



今帰仁村出身
額井 まさし (20)



本部町出身
喜納 まつひ (19)

お問い合わせ 本部消防署: ☎0980-47-7119 今帰仁分遣所: ☎0980-56-2151

もとぶっ子アスリート

令和5年2月～令和5年3月にかけての子どもたちの活躍を掲載します。

大会名	チーム名	成績
第29回島袋杯 小学生バレーボール大会	瀬底オーシャンズ	準優勝
第7回北部北・辺土名ブロック 低学年監督会学童野球強化 リーグ大会	本部少年野球クラブ	優勝 殊勲賞:古堅 勇次郎 打撃賞:宮城 辰吉
	上本部ドジャース	準優勝 敢闘賞:内間 千理 打撃賞:與那嶺 暖若
第1回国際通り ジュニア駅伝大会	449 R C	高学年の部:準優勝 低学年の部:6位
第25回国頭地区中学校1年生 春季バスケットボール大会	本部中学校 女子バスケットボール部	優勝
第43回全日本ジュニア選手権 (ウエイトリフティング)	本部中学校2年 天久 星七	7位(スナッチ・ジャーク・トータル で日本中学新記録)
	本部高校2年 比嘉 成	2位(トータルで日本高校新記録)
第114回国頭地区 ミニバスケットボール交歓会	本部小学校男子 ミニバスケットボールクラブ	第3位



もとぶっ子 写真館

町内の子どもの笑顔をお届けするコーナーです!



指しゃぶり大好き
はせべ 陽大 くん(5ヶ月)



兄弟仲良く大きくなあれ
親川 笑舞 ちゃん(5歳)
叶蒼 くん(6ヶ月)
笑未 ちゃん(3歳)



仲良く元気に大きくなあれ
なかそね ひより ちゃん(3歳)
すい 翠 ちゃん(4ヶ月)

【募集対象】 町内在住の0～7歳
【応募方法】 本部町子育てLINE公式アカウントのトーク機能から必要事項を記入し、画像データを添付の上送信してください。
【必要事項】 ①お子さんの名前、②ふりがな、③年齢または月齢、④一言コメント
●応募数によって掲載時期が変動しますのでご了承ください。

本部町子育て
[ID:@vfr8854q]
LINE友達追加 ▶▶▶



4月は沖縄を代表する花「アイゴ」が咲き始めるよ。

沖縄ポリビア協会より本の寄贈

沖縄ポリビア協会の伊佐仁会長が町役場を訪れ、「ポリビア開拓記外伝」の寄贈を行いました。町民をはじめ多くの方々にこの本を読んでいただき、ポリビアに移住しての暮らしぶりなどを知ってほしいとの思いでこの本が贈られました。

もとぶ文化交流センター図書資料室でご覧になれますので、読んでみてはいかがでしょうか。



町営団地の入居者募集について

◎令和5年3月現在、町営住宅崎本部団地において空きが発生したため入居希望の方を募集します。

【申込用紙配布】

令和5年4月3日(月)～4月21日(金)
午前9時～午後5時まで
(午後12時～13時及び土日祝祭日を除く)



【受付期間】

令和5年4月10日(月)～4月21日(金)
午前9時～午後5時まで
(午後12時～13時及び土日祝祭日を除く)

【募集团地名】

町営崎本部団地202・305号室(3LDK)

【申込方法】

所定の申込用紙に所得証明書・住民票謄本・町税完納証明書・資産証明書(無資産証明書)・その他必要書類を添えてお申込み下さい。

【入居順位】

公開抽選により入居者を決定します。
※(令和5年7月～8月中に入居可能な方に限る)

【家賃】

世帯所得に応じ個々に算定し決定します。

※**申込者または同居者が暴力団員等と判断された場合は、入居できません。**

お問い合わせ

本部町役場 建設課 都市計画港湾班
☎0980-47-2111

山里屋比久線(大原地区)開通

令和5年2月、山里屋比久線(大原地区)の未整備区間の一部について整備を終え開通いたしました。本道路は、山里、野原、浦崎地区を結ぶ道路となっております。周辺には、町民体育館、陸上競技場、闘牛場が隣接しており、イベント開催時におけるバイパス機能等の道路インフラ機能の向上が期待されます。



令和5年度 狂犬病予防集合注射のお知らせ

飼い犬は、生涯1回の登録と1年に1回の狂犬病予防注射を受けなければなりません。(狂犬病予防注射の有効期限は1年です。)

犬だけでなく、人間や他の動物にも感染し、発病すると100%死亡する恐ろしい狂犬病を防ぐため、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

本部町では、下表のとおり集合注射並びに犬の登録手続業務を実施します。料金につきましては、下表を参照ください。
※お釣りが出ないようにご協力をお願いします。

料金表(集合注射の場合の料金)		接種日	令和5年5月26日(金)
予防注射手数料	2,850円	実施場所	大浜多目的グラウンド
注射済票交付手数料	550円		
犬の登録申請料	3,000円	時間	午前10時～午後3時
鑑札再交付申請手数料	1,600円		

※注意事項※

- 1ヶ月以内に他のワクチンの接種を受けたり、体調に不安がある場合は主治医の獣医師にご相談ください。
- リード首輪を抜けないように必ずつけてください。胴輪は使用しないでください。
- 犬をしっかり制御できる人が連れてきてください。
- 糞をした場合は飼い主の責任で持ち帰ってください。
- 咬傷事故を防ぐために、愛犬には口輪やエリザベスカラーの装着をお願いします。

●集合注射は飼い犬への精神的、肉体的ストレスが大きく、咬傷事故や熱中症のおそれもありますので、極力掛かりつけの動物病院で予防注射を受けることをお勧めします。

動物病院名	住所	電話番号
動物病院 そらの救急箱	本部町字浦崎932-1	0980-51-7200
はるか動物病院	今帰仁村字玉城819-1	0980-56-1535
ヤンバル動物診療所	名護市大北1-9-17	0980-53-1536
喜納動物クリニック	本部町字謝花245	0980-48-2660

お問い合わせ

本部町役場健康づくり推進課
☎0980-47-5602

フードドライブのご協力ありがとうございます！

日頃からフードドライブへのご理解、ご協力をありがとうございます。町内の本部郵便局、上本部郵便局にはたくさんの食料が届けられており、本部町社会福祉協議会やボランティア団体で活用されています。

令和4年3月から令和5年2月までに寄附を頂いた食料をご紹介します。

これからも、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

- お米 8kg
 - 粉もの・乾麺・乾物 52個
 - インスタント・レトルト食品 176個
 - 缶詰118個●調味料9個●ジャム9個●お菓子225個●飲料65本
- 合計654品



お問い合わせ

本部町役場福祉課 ☎0980-47-2165



【町県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税】の納付は便利な口座振替がおすすめです。

いつまでも、元気で輝くあなたを応援したい！ ちびら～SUN事業 募集のお知らせ

本部町内で自主的に健康づくりや生きがいがづくりに取り組んでいる団体へ、1団体あたり上限10万円の活動費を補助します。

【対象団体】

- 65歳以上の高齢者が5人以上参加する団体
 - 月2回以上、1年以上活動する団体 など、要件があります。
- ※詳しくは下記へお問い合わせください。

【補助対象期間】令和5年5月～令和6年2月に行う活動

【申込受付期間】令和5年4月3日～28日まで

※令和4年度に補助を受けていない団体を優先します。

※1行政区1団体への補助となります。応募団体が少ない場合、追加募集を行います。

お問い合わせ 地域包括支援センター ☎0980-43-0565

心豊かなながまちづくり推進事業における 公募のご案内

この事業は、町民の心を豊かにするために行政区又は、地域団体が地域住民と一体となった実施を目的とする。

【対象団体】法人格を持たない任意の団体で、かつ、本町に事務所を置く団体。3団体程度

【対象経費】一団体当たり上限20万円。地域住民が対象となり、かつ、心豊かなまちづくりにつながる事業経費

※人件費や個人及び団体の資産形成、食糧費、建設費等は補助対象外とする。

【申請締切】令和5年5月19日(金)

【申請書類】申請書、事業計画書、見積書、カタログなど

※申請様式は、本部町役場総務課又は、本部町ホームページにて取得できます。

【その他】令和6年2月29日(木)までに必ず事業完了すること

お問い合わせ 総務課 行政班 ☎0980-47-2101

令和5年度の住民健診は日曜日に開催されます！

平日には住民健診を受けられなかった皆様、この機会に住民健診、受けてみませんか？

- ① お好きな日程をお選びください。
- ② 予約してください
(健康づくり推進課 ☎0980-47-5602)。
- ③ 特定健診受診券やがん検診受診券など必要なものを持参して受診してください。



日程	受付時間	会場	基本	肺	大腸	胃	乳	子宮
4月23日(日)	午前8時30分～ 10時30分	本部町役場	○	○	○	○	—	—
6月4日(日)			○	○	○	○	—	
7月9日(日)			○	○	○	○	—	
9月3日(日)			○	○	○	○	—	
10月6日(金)	午後2時～3時	もとぶ文化 交流センター	—	—	—	—	○	○
12月19日(火)			—	—	—	—	○	○

お問い合わせ 健康づくり推進課 ☎0980-47-5602

新型コロナワクチン 令和5年春開始接種について

接種対象者へは順次接種券を発送します。接種を希望する方は8月末までに接種予約をお願いします。

【接種時期】令和5年5月8日～8月末

【接種対象者】初回接種(1・2回目接種)を終了し、前回の接種から3か月以上経過した次の①～③どちらかの該当者

- ① 65歳以上の方
- ② 基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者(5歳以上)
- ③ 医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者

【使用するワクチン】

- 従来株とオミクロン株に対応した2価ワクチン(ファイザー、モデルナ)
- ノババックス

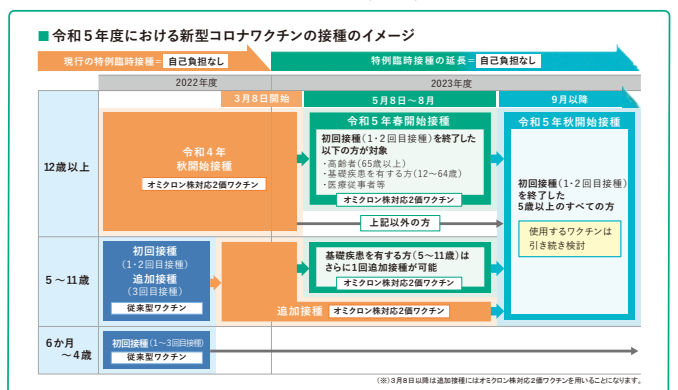
【接種券の発送について】

※発送スケジュールについては、現在調整中です。

- ① 申請が不要な方:65歳以上の方
 - ② 申請が必要な方:接種対象者②または③の方
 - 基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者(5歳以上)
 - 医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者
- ※未接種の接種券は引き続き使用可能です。接種券の紛失等で、再発行を希望される方は、本部町新型コロナワクチン接種コールセンター(☎0980-43-5016)までご連絡ください。

【令和5年春開始接種対象外の方へ】

- 初回接種を終了していない方は、**令和5年度末まで**初回接種を受けることができます。
生後6か月～4歳の方の初回接種は1～3回目(1回目の接種日年齢で判断します)
5歳以上の方の初回接種は1～2回目
- オミクロン株対応2価ワクチン未接種の方は、**令和5年5月7日まで**接種を受けることができます。ただし、5～11歳の方でオミクロン株対応2価ワクチン未接種の方は、**令和5年8月末(予定)まで**受けることができます。





各種税、料金についてクレジットカード、スマホアプリ決済による納付が可能となりました。詳細は町HPをご確認ください。

本部町ちゅらまちづくり応援基金

令和5年1月1日～
令和5年1月31日分

件数231件
総額5,521,000円

ご寄附

ありがとう
ございました

- 年末に本部町を訪れてとてもいい経験をしました。また沖縄に来た際には本部町に行きたいと思います。
- 沖縄が大好きです。これからも綺麗な沖縄を守っていきたいです！教育も応援しております。
- 本部町を応援します。

2023年4月

1 土
2 日
3 月 体操サークル(具志堅区)
4 火
5 水 買い物便(豊川区) マイナンバー時間外交付
6 木 買い物支援(具志堅区)
7 金
8 土 マイナンバー休日交付
9 日
10 月 キッチンとうばる(豊川区) 体操サークル(具志堅区)
11 火
12 水 買い物支援(瀬底区) マイナンバー時間外交付
13 木 買い物支援(具志堅区)
14 金 買い物支援(新里区)
15 土 定例おはなし会(図書資料室)
16 日
17 月 体操サークル(具志堅区)
18 火

19 水 買い物便(豊川区) マイナンバー時間外交付
20 木 買い物支援(具志堅区)
21 金
22 土
23 日
24 月 キッチンとうばる(豊川区) 体操サークル(具志堅区)
25 火
26 水 買い物支援(瀬底区) マイナンバー時間外交付
27 木 買い物支援(具志堅区)
28 金 資料整理日のため休館 (図書資料室) 買い物支援(新里区)
29 土 昭和の日
30 日 青年農業者日曜朝市

友だち募集中!

2023年5月

1 月 体操サークル(具志堅区)
2 火
3 水 憲法記念日
4 木 みどりの日
5 金 こどもの日
6 土
7 日
8 月 キッチンとうばる(豊川区) 体操サークル(具志堅区)
9 火
10 水 買い物支援(瀬底区)
11 木 買い物支援(具志堅区)
12 金 買い物支援(新里区)
13 土
14 日
15 月 体操サークル(具志堅区)
16 火
17 水 買い物便(豊川区)
18 木 買い物支援(具志堅区)
19 金

20 土
21 日
22 月 キッチンとうばる(豊川区) 体操サークル(具志堅区)
23 火
24 水 買い物支援(瀬底区)
25 木 買い物支援(具志堅区)
資料整理日のため休館 (図書資料室) 買い物支援(新里区)
27 土
28 日 青年農業者日曜朝市
29 月 体操サークル(具志堅区)
30 火
31 水 買い物便(豊川区)



令和5年度 固定資産税・軽自動車税 納税通知書の発送

【納税通知書の発送】

固定資産税(1月1日時点の所有者)及び軽自動車税(4月1日時点の所有者)の納税通知書は、4月末に発送します。納税通知書が届かない場合は、住民課課税班までお問い合わせください。

【納付期限】

- **固定資産税**
第1期:令和5年 5月31日
第2期:令和5年 7月31日
第3期:令和5年 12月25日
第4期:令和6年 2月29日
- **軽自動車税**
令和5年5月31日

軽自動車税(種別割)の減免申請について

一部の身体障がい、知的障がい(A1・A2)、精神障がい(1級)がある方のために使用する軽自動車は、一定の要件を満たす場合、申請により軽自動車税の免除を受けることができます。障がいの程度によっては対象とならない場合があります。※令和4年度に減免を受けた方は、納税通知書に令和5年度の減免申請書を同封し、送付します。

【必要書類】

- 軽自動車税納税通知書 (4月末発送予定)
- 自動車車検証
- 運転者の自動車運転免許証
- 障害者手帳などの原本

【申請期限】

令和5年5月30日(火)

令和4年度町税・国保税の納め忘れはありませんか？

4月の夜間
納税相談日

令和5年4月25日(火)

午後5時30分～7時30分

※状況により、中止となる事があります。
※毎月25日実施(25日が休日であれば翌平日)
※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。

【相談できる税】固定資産税・町県民税・軽自動車税(種別割)・国保税・後期高齢者医療保険料

お問い合わせ

健康づくり推進課 ☎0980-47-2701
住民課 ☎0980-47-5629

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税		○ 1期		○ 2期					○ 3期		○ 4期	
町県民税			○ 1期		○ 2期		○ 3期			○ 4期		
軽自動車税		○										
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	
後期高齢				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	○ 9期

本場で ホエールウォッチング

冬になるとザトウクジラが本郡近

海に訪れることから、2月11日に町内小学生を対象にホエールウォッチングが実施されました。本郡町青少年健全育成協議会が主催して行われ、子どもたちにクジラを近くで見てもらい本部の豊かな海を体験してもらうことを目的に行われました。

この日は天候にも恵まれて、伊江島近海で親子のザトウクジラを見ることが出来ました。親のクジラは体長約13メートルあり、ブローと呼ばれる頭上に水しぶきを上げるシーンも見ることが出来ました。

クジラが見えた瞬間には船から歓声が起こるなど子どもたちも喜んでいました。



ホエールウォッチングを楽しむ子どもたち

でいました。

参加した瀬底小学校4年の金城幸樹さんは「クジラを初めて見ることが出来て感動した。船から見た本部の景色も綺麗で、自分の家も見つけられることが出来た」と船の上からの景色も満喫していました。また、同校5年の上間春真さんは「クジラが潮を吹いて呼吸しているところや背ビレと尾ビレも見ることができて嬉しかった。他の人にも本部の自然の豊かさやクジラを見ることが出来ることを知ってほしい」と話しました。



クジラを一生懸命探す様子



ザトウクジラの尾ビレ



ザトウクジラ



たくさん野菜が採れました！ 野菜づくりわくわく体験

昨年11月に行われた植え付け体験

で植付けした野菜の収穫が3月6日、字浦崎の畑で行われました。渡久地保育所、伊豆味幼稚園、瀬底幼稚園、上本部幼稚園の子どもたちがジャガイモ、玉ねぎ、レタスを青年農業者の皆さんと一緒に収穫しました。

瀬底幼稚園の緒方小蒔さんは「ジャガイモを20個も収穫できた。ジャガイモを使って作れるレシピを検索してお家で作ってみたい」と食べるのを楽しみにしていました。また、上本部幼稚園のケム咲満さんは「大きいジャガイモや変わった形のジャガイモを取るのが楽しかった。ポテトチップスにして食べたい」と



ジャガイモ収穫を行っている様子



玉ねぎ収穫の様子

嬉しそうに話しました。

青年農業者の会の平良哲会長は「日頃から食べているジャガイモや玉ねぎがどのようにして収穫されているのかを知ってもらい、食や農業について興味を持ってもらったら嬉しい」と話しました。



渡久地保育園

